

芝浦工業大学スーパーグローバル大学創成支援事業ロジックモデル

価値共創型教育を特徴とする理工学人材育成モデルの構築と世界の発展への貢献

インプット

SGU予算	大学独自予算
物品費 海外拠点整備／ グローバルPBL運営費	物品費
人件費 事業推進教員／ 高度専門職（UGA）	人件費 （外国人教員含む）
謝金 グローバルLLF	旅費
旅費 グローバルPBL引率／GTI シンポジウム／海外協定校締結	独自奨学金 等
その他 授業英語化／事業報告書作成／ GLC整備 等	

アクティビティ

法人全体のSGU事業ならびに グローバル化を統括	
海外大学訪問	教育プログラム 作成・実施
シンポジウム開催	産学官連携活動
留学フェアへの 参加	グローバルPBL・海外 インターンシップ実施 GTIコンソーシアム設立

アウトプット

ビジョン・中期計画の策定	外国人留学生の増加
組織再編・規程整備	日本人学生の留学経験者増加
国際通用性を見据えた 人事評価制度の導入	外国語力基準を 満たす学生の増加
外国籍教員の増加	理工学教育の質保証
外国の大学で学位を取得 した日本人教員の増加	英語のみで修了できる 学部学位プログラムの設置
入試における 国際バカロレアの活用	ルーブリックを用いた評価の普及
	GTIコンソーシアムを 活用したPBLの増加

インパクト

- ・自走化による継続的な取り組み
- ・国内・海外大学への芝浦モデルの展開によりグローバル化を牽引

10年後に目指すべき姿（中・長期アウトカム）

Centenial SIT Action – 100周年（2027年）の芝浦工業大学



- ・英語のみで学位が修了できる課程の拡充
- ・大学院の充実（進学率・研究力向上）
- ・産業界と連携したGTIコンソーシアム機能強化
- ・グローバル理工学教育モデルの他大学への浸透
- ・外国人等教員の割合 60%、外国人留学生の割合 29.4%、日本人学生の留学経験者 100%、外国語力基準を満たす学生割合 100%、グローバルPBL参加学生割合 10%、等の達成

実施体制（学内体制/評価体制）強化

教職学協働による迅速な意思決定の実現
給付型奨学金や学内支援事業募金による
安定的な財源確保

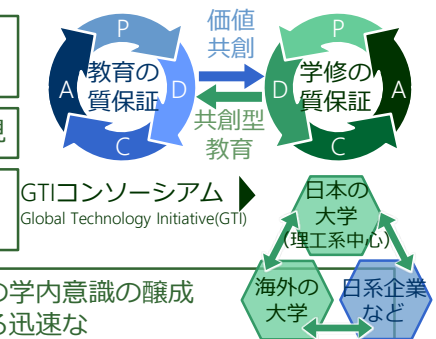
“世界に学び、世界に貢献するグローバル理工学人材の育成”

インパクト達成に向けた他の取組例

- 大学教育再生加速プログラム（AP）
- 工大サミット
- 理工学教育 共同利用拠点

初期アウトカム

- 1 価値共創型教育による実践型技術者の育成
- 2 世界水準の大学制度の実現
- 3 教育・研究・開発コンソーシアムの構築



ガバナンス・組織	・国際化のための学内意識の醸成 ・学長付託による迅速な意思決定システムの構築 ・年俸制の導入
教育・研究	・教職員のダイバーシティ強化 ・学生の流動化促進 ・学事暦の変更（クォーター制、100分×14週授業導入） ・外国語による授業科目拡充 ・正課における国際産学連携PBL増加